



2025年5月13日

各位

会社名 株式会社ヴィア・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 楠元 健一郎
(コード7918、東証スタンダード市場)
問い合わせ先 常務執行役員経営推進本部長 羽根 英臣
電話番号 03-5155-6801

通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2024年5月10日に公表した2025年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値において、差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期通期連結業績予想と実績値との差異 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,500	450	370	220	4.98
実績値(B)	17,373	198	122	△19	△0.44
増減額(B-A)	△127	△252	△248	△239	
増減率(%)	△0.7	△55.8	△66.8	—	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	16,981	325	249	216	5.15

2. 差異の理由

売上高については、経済活動の正常化が進むなか、期初に掲げた客数増加という目標に対し、前年の客数は上回ったものの、気象変動や急激な物価高騰の影響により消費者の動向（来店されるお客様）の変動幅が大きく、想定のお客数は未達となりました。一方で、各業態におけるメインアイテムの品質向上とそのための技術の再構築という「本質回帰」に徹底して取り組んだ結果、お客様一人当たりの購入単価は向上しましたが、客数の不足を補いきれず、売上高は127百万円の未達となりました。

利益面においては、上期は、メニュー改定及びメニュー構成の組み換えによる顧客粗利改善、食材ロスの低減による原価改善、店舗の営業オペレーション見直しによる労働生産性の向上といった施策により、想定通りの利益を確保することができました。しかしながら、下期については、当業界における賃金水準の上昇、原材料価格・物流費の高騰の影響が大きく、想定以上の人件費・仕入原価・光熱費の高騰となりました。上期の収益改善では増加コストを吸収しきれず、営業利益は252百万円の未達、経常利益は248百万円の未達となりました。

また、店舗減損に関する特別損失も想定より膨らみ、親会社株主に帰属する当期純利益は239百万円の未達となりました。

今後につきましては、依然として厳しい経営環境が続くものと認識しておりますが、足元の課題に向き合い、収益構造の更なる改革を進め、収益の安定化をより一層推進してまいります。また、中長期的な成長に向け、既存事業の収益性向上と新規出店にも注力し、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

以上